

| | | | | |
|------------|-------------------------------------|----------------|---------|---------|
| 豊田工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和06年度(2024年度) | 授業科目 | 保健体育IVA |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 04102 | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 実技 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 一般教育 | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 「ステップアップ高校スポーツ」(大修館書店) / プリント ビデオ教材 | | | |
| 担当教員 | 土井 鳩一郎 | | | |

到達目標

- (ア)備品を大切にし準備やあとかたづけができる。
- (イ)各自の運動能力が把握できる。
- (ウ)基本的な技術を積極的に学習できる。
- (エ)協力してゲームを運営できる。
- (オ)テニスの歴史とルールを理解できる。
- (カ)安全に留意して学習を進めることができる。
- (キ)自らの体力レベルを把握し、自分の体力の維持向上を図る指標とする。

ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|--------|--|------------------------------------|---------------------|
| 評価項目 1 | 数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力してスポーツテストが実施できる。 | クラス内のメンバーと協力してスポーツテストが実施できる。 | 協力してスポーツテストが実施できない。 |
| 評価項目 2 | テニスに必要な技術を習得し、クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。 | クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。 | 協力してテニスの試合が実施できない。 |
| 評価項目 3 | テニスの競技特性を理解し、それに応じた実践ができる。 | テニスの競技特性を理解できる。 | テニスの競技特性を理解できない。 |

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

| | |
|-----------|--|
| 概要 | スポーツテストを実施することで自分の体力レベルを把握する。テニスでは、個人の運動能力に合わせて技術を学習し、試合で積極的に実施できる能力を育成する。また、生涯スポーツとして活用していくように、試合のマナー、ルールについても学習する。 |
| 授業の進め方・方法 | |
| 注意点 | ジャージを着用し、使用施設にあったシューズを使用する。ピアス、指輪、ネックレス等は外すこと。携帯電話・スマートフォンは授業中に扱わないこと。爪は切っておくこと。 |

選択必修の種別・旧カリ科目名

選択必修（体）規制技術に含まれるものはない

授業の属性・履修上の区分

| | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|

授業計画

| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 前期 | 1週 | スポーツテスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び) | 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びの測定を実施ことができる。 |
| | 2週 | スポーツテスト(50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ) | 50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの測定を実施ことができる。 |
| | 3週 | スポーツテスト(シャトルラン) | シャトルランの測定を実施することができる。 |
| | 4週 | ボールコントロール(グリップ、ラケットコントロール、ボレーゲーム) | グリップの握り方やラケットコントロールが理解できる。 |
| | 5週 | ストローク(フォアハンド、バックハンド、半面ゲーム) | フォアハンドとバックハンドの動きが理解できる。 |
| | 6週 | 3 - 3 のゲーム(ボレー、ストローク、サーブ) | ボレーやサーブの動きが理解できる。 |
| | 7週 | サーブ(アンダーハンドサーブ、スライスサーブ、スピニングサーブ) | いくつかのサーブ方法が理解できる。 |
| | 8週 | スマッシュとロブ | スマッシュとロブについて理解できる。 |
| 2ndQ | 9週 | テニスの歴史とルール | テニス歴史とルールが理解できる。 |
| | 10週 | ダブルスゲーム | ダブルスゲームの進行が理解できる。 |
| | 11週 | ダブルスゲーム | ダブルスゲームが実施できる。 |
| | 12週 | ダブルスゲーム | ダブルスゲームが実施できる。 |
| | 13週 | シングルスゲーム | シングルスゲームの進行が理解できる。 |
| | 14週 | シングルスゲーム | シングルスゲームが実施できる。 |
| | 15週 | シングルスゲーム | シングルスゲームが実施できる。 |
| | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | | | |
|--------|---------|------|-----|
| | スポーツテスト | 実技課題 | 合計 |
| 総合評価割合 | 15 | 85 | 100 |

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 基礎的能力 | 15 | 85 | 100 |
|-------|----|----|-----|